

懇談会における検討項目について

平成19年10月18日

事務局

本懇談会における検討項目(案)

1 国際分野における郵政行政において持つべき視点は何か。

考えられる
視点

- ① グローバルな社会的・経済的諸課題に対し、郵政行政が如何に貢献できるか。
- ② ダイナミックに変革する市場の動向・国際的な政策動向がどのようなものであるか。
- ③ 利用者利便の向上、利用者ニーズへの対応等、利用者に視点を置いた対応が図られているか。

2 国際分野における郵政行政における課題は何か。

考えられる
課題の
例

【サブスタンス(利用者ニーズに対応した国際郵便の品質向上、利用者利便の向上等)に関連するもの】

- ① 環境問題等グローバルな社会的・経済的課題に対する郵政分野における取組みの把握
- ② 世界的なユニバーサルサービスの確保に対するわが国の貢献の在り方
- ③ 国際郵便に対する利用者(法人、個人)のニーズの的確な把握
- ④ 郵便に関連する国際市場の市場動向の的確な把握(郵便関連システム、国際物流の市場動向等)
- ⑤ 利用者ニーズに対応した品質の向上: 国際郵便におけるICTの更なる利活用の促進
(例) ・ 国際郵便の業務プロセスにおけるICT化の現状と課題の把握(RFID(無線タグ)の利活用の現状と課題の把握等)
・ 関係事業者間の情報交換システム等ICTインタフェースの現状と課題の把握 等
- ⑥ 国際郵便における安全・信頼性・セキュリティの向上
(例) ・ 円滑な郵便物の流通の確保と安全性等との整合性 ・ 郵政庁間での事前情報交換、郵便禁制品の在り方の検討 等

【フレームワーク(環境整備、制度整備等)に関連するもの】

- ① 時代の要請に適合した国際協力・連携の在り方の検討
- ② 関係者の国際活動のための環境整備の在り方の検討
- ③ UPU等国際機関の更なる活用の在り方の検討

3 国際分野における郵政行政において、目指すべき方向性は何か。